




九州大学ビジネス・スクール社会連携事業  
平成29年度「短期エグゼクティブ・プログラム」  
講師プロフィール

講義テーマ	講師	プロフィール
<p>コーポレート・アントレプレナーシップ (第2回講義)</p>	<p>九州大学ビジネス・スクール 教授 高田 仁</p> 	<p>九州大学工学部卒業後、大手メーカー勤務。その後、九州大学大学院工学研究科(修士)に進学し、『研究開発型産業立地論』をテーマに修士課程修了。修了後、コンサルタント会社にて大学を核とした地域計画の立案に従事。1999年4月、東京大学のTLO(技術移転機関)である(株)先端科学技術インキュベーションセンター(CASTI、現東大TLO)の経営に参画し、2002年12月まで同社取締役副社長兼COO。2003年2月に九州大学経済学研究院助教授に着任。また、同年10月から2010年3月まで九州大学知的財産本部技術移転グループリーダーを兼務。大学を地域活性化の核と位置づけ、様々な産学連携スキームの構築やそれに基づく教育・研究に携わる。 2009年9月から翌3月まで、Robert Huang Fellowとして米国MIT Sloan School of Management/Entrepreneurship Centerに滞在し、アントレプレナーシップを巡る最新動向について学ぶ。2005年11月から2010年9月まで総長特別補佐(広報、大学活性化、起業家教育、等担当)。2010年12月より九州大学ロバート・ファン/アントレプレナーシップセンター兼務。2015年4月より2017年3月まで経済学研究院産業マネジメント専攻長。 &lt;社会活動&gt; 文部科学省オープンイノベーション共創会議委員(2016~2017年)、NEDO技術委員(~現在)、DBJキャピタル(株)アドバイザーなど各種委員等、多数。FM福岡のラジオ番組QT PROモーニングビジネススクールでMOTやアントレプレナーシップを中心に時事問題を解説。</p>
<p>組織人事戦略 (第3回講義)</p>	<p>株式会社トランスラクチャ 代表取締役 森 大哉</p> 	<p>早稲田大学法学部卒業。ニューヨーク大学経営大学院修了。三菱重工業株式会社勤務の後、トーマツコンサルティング(現在のデロイトトウシュートマツ)株式会社、朝日アーサーアンダーセン株式会社のパートナーを経て、現在は株式会社トランスラクチャ、代表取締役シニアパートナー。組織人事コンサルタントとして製造業、小売業、サービス業等の人事組織方針立案、人事制度設計、組織ライトサイジング、経営層・管理職層の人材開発に関与。企業研究会セミナー『人事管理の在り方』、人事マネジメント『雇用延長時代の人事マネジメント』ほか講演、執筆多数。桜美林学園理事。 &lt;社会活動&gt; 私立大学研究会において少子高齢化時代における私立大学の経営や社会貢献の在り方について研究・提言を実施。</p>
<p>企業戦略 (第4回講義)</p>	<p>九州大学ビジネス・スクール 准教授 目代 武史</p> 	<p>広島大学大学院国際協力研究科修了(学術博士)。広島大学地域経済システム研究センター助手、東北学院大学経営学部准教授、九州大学大学院工学研究院准教授を経て、現職。専門は、生産管理、製品開発マネジメント、企業戦略。主な著書に『新たな事業価値の創造』(九州大学ビジネス・スクール編、九州大学出版会、2016年)、『日本自動車産業グローバル化の新段階と自動車部品・関連中小企業』(清响一郎編著、社会評論社、2016年)、『東北地方と自動車産業』(折橋伸哉・目代武史・村山貴俊編著、創成社、2013年)。主要論文に "Will cars be modularized? New vehicle development approaches of Renault-Nissan and Mazda" (Heike Proff and Thomas Mrtin Fojcik (eds.). <i>Nationale und internationale Trends in der Mobilitaet: Technische und betriebswirtschaftliche Aspekte</i>, Springer Gabler, 2016)、"新たな車両開発アプローチの模索: VW MQB、日産CMF、マツダCA、トヨタTNGA" (『赤門マネジメント・レビュー』12巻9号、2013年、岩城富士大との共著)等。</p>

講義テーマ	講師	プロフィール
<b>マーケティング戦略</b> <b>(第5回講義)</b>	九州大学ビジネス・スクール 講師 岩下 仁 	早稲田大学商学部卒業後、花王株式会社ハウスホールド事業本部、早稲田大学大学院商学研究科修士課程、株式会社野村総合研究所コンサルティング本部、早稲田大学大学院商学研究科博士後期課程、早稲田大学商学学術院助手、立教大学経営学部兼任講師を経て、2013年4月より九州大学大学院産業マネジメント専攻講師に就任。 <主な業績> 『商品開発・管理入門』(共著: 恩蔵直人、岩下仁、第2章「マーケティングにおける市場志向」担当、115～132頁、中央経済社) / 『社会的責任のマーケティング事業の成功とSCRを両立する』(共訳、第4章「コーズ・リレーテッド・マーケティング」担当、93～129頁、東洋経済新報社) / 「リーダーシップ・スタイルが市場志向におよぼす影響ー市場志向の強調は、どのような商品パフォーマンスをもたらすのかー」『商品開発・管理研究』第8巻第2号、24～53頁、商品開発・管理学会 / 「市場志向が商品開発優位性に及ぼすメカニズムーナレッジマネジメント・アクティビティの効果ー」『流通研究』、第16巻4号、13～33頁、岩下、石田、恩蔵(2014)、日本商業学会 / 「イノベーションを創出し続けるサービス組織ー市場志向が革新性をもたらすメカニズムの解明ー」『マーケティングジャーナル』第33号、第2巻65～79頁、岩下、石田、恩蔵(2014)、日本マーケティング学会。「製品デザイン要素の解明ー自動車産業に対する定性調査による考察ー」『マーケティングジャーナル』岩下、大平、石田、外川、恩蔵、第34号第3巻、99～116頁、日本マーケティング学会、2015年等。
<b>戦略ケース</b> <b>(第7回講義)</b>	慶應義塾大学 教授 飯盛 義徳 (SFC研究所 所長) 	佐賀市生まれ。長崎私立青雲高等学校、上智大学文学部を卒業後、1987年松下電器産業株式会社入社。富士通株式会社出向などを経て、1992年慶應義塾大学大学院 経営管理研究科修士課程入学。1994年同校修了(MBA取得)後、飯盛教材株式会社入社、1997年常務取締役。2000年佐賀大学理工学部寄附講座客員助教授。また、アントルプレナー育成スクール「鳳雛塾」を設立。2001年有限会社EtherGuy設立、代表取締役。2002年慶應義塾大学大学院経営管理研究科博士課程入学。2005年同大学院博士課程単位取得退学と同時に、慶應義塾大学環境情報学部専任講師。2007年、博士(経営学)。2008年同大学総合政策学部准教授、2014年同学部教授就任、現在に至る。2015年10月から、慶應義塾大学SFC研究所所長に就任。 専門は、プラットフォームデザイン、地域イノベーション、ファミリービジネスなど。2003年度、鳳雛塾は、日経地域情報化大賞日本経済新聞社賞、総務省地域づくり総務大臣表彰、経済産業省キャリア教育アワード優秀賞などを受賞。総務省地域づくり懇談会委員、総務省人材力活性化研究会座長、総務省ふるさとづくり懇談会委員、国土交通省奄美群島振興開発審議会委員、内閣府休眠預金等活用審議会委員、佐賀県地域づくりコンシェルジュ、高知県中山間地域活性化アドバイザーなどを務める。 著書は、「地域にふさわしいアントルプレナー育成モデルを目指して」(日本ベンチャー学会)、「地域情報化プロジェクトにおける事業創造のマネジメント」(情報社会学会)、「ファミリービジネス教育の可能性と課題ー慶應義塾大学湘南藤沢キャンパスの実践を通してー」(ファミリービジネス学会)など論文多数。主著に『「元気村」はこう創る』(日本経済新聞出版社、2007年)、『ケース・ブックIV 社会イノベータ』(慶應義塾大学出版会、2009年)、『小学生のためのキャリア教育実践マニュアル』(慶應義塾大学出版会、2011年)、『慶應SFCの起業家たち』(慶應義塾大学出版会、2013年)、『地域づくりのプラットフォーム』(学生出版社、2015年)、『日本のファミリービジネス』(共著、中央経済社、2016年)ほか。 <社会活動> 総務省ふるさとづくり懇談会委員、総務省人材力活性化研究会座長、国土交通省奄美群島振興開発審議会委員、内閣府休眠預金等活用審議会委員、佐賀県地域づくりコンシェルジュ、高知県中山間地域活性化アドバイザー、山形県総合政策審議委員、NPO法人鳳雛塾理事長(ファウンダー)、ファミリービジネス学会常任理事。
<b>ロジスティクス</b> <b>(第8回講義)</b>	九州大学ビジネス・スクール 教授 星野 裕志 	慶應義塾大学法学部政治学科卒、ジョージタウン大学経営大学院修了 日本郵船株式会社、日本貨物航空株式会社(出向)を経て、神戸大学経営学部・経済経営研究所助教授、2003年より現職、2007年～2009年産業マネジメント専攻長兼経済学研究大学院副院長、2011年～2012年、2015/2017年 コロンビア大学客員研究員、神戸大学・タイ国立Mae Fah Luang大学客員教授。 研究分野: 国際経営、国際ロジスティクス <社会活動> 九州地方総合物流施策推進会議議長、博多港長期構想検討委員会・物流専門委員会委員、福岡市総合計画審議会委員、日本海運経済学会会長、多国籍企業学会理事、国際ビジネス研究学会理事、KAIL九州アジア経営塾副理事長、福岡インターナショナルスクール理事。

講義テーマ	講師	プロフィール
<b>ナレッジマネジメント</b> <b>(第9回講義)</b>	九州大学ビジネス・スクール 教授 永田 晃也 	<p>早稲田大学大学院経済学研究科修士課程修了。科学技術庁科学技術政策研究所主任研究官、北陸先端科学技術大学院大学知識科学研究科助教授などを経て、2004年度、九州大学ビジネススクール助教授。2008年度から2009年度にかけて交流人事により文部科学省科学技術政策研究所総括主任研究官。2010年度より現職。主要著書：「日本型イノベーション・システム—成長の軌跡と変革への挑戦」(野中郁次郎との共編著、白桃書房、1995年)、「知識国家論序説—新たな政策過程のパラダイム」(野中郁次郎・泉田裕彦との共編著、東洋経済新報社、2003年)、「知的財産マネジメント—戦略と組織構造」(編著、中央経済社、2004年)、「ナレッジマネジメントの思想—知識生産と社会的認識論」(共訳書、新曜社、2009年)。受賞歴：2011年度研究・技術計画学会論文賞、2013年度研究・技術計画学会学会賞。</p> <p>&lt;社会活動&gt;            組織学会理事(1999年度～2002年度)、同評議員(2013年10月～2015年9月)、研究・技術計画学会編集理事(1996年度～1997年度、2004年度～2005年度)、同副会長(2014年度～現在)、日本MOT学会理事(2006年度～現在)、経済産業省産業構造審議会「知的財産政策部会」委員(2002年度)、新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)技術委員(2004年度～現在)、一橋大学イノベーション研究センター外部評価委員(2005年度)、福岡市「ロボット関連企業創出戦略調査検討委員会」委員長(2007年度)、科学技術振興機構「企業化開発・地域研究交流促進事業評価部会」外部委員(2008年度～2009年度)、大学基準協会経営系専門職大学院認証評価委員会委員(2012年度～現在)、九州大学経済学府産業マネジメント専攻長(2011年度～2012年度)、九州大学総長特別補佐(2012年12月～2014年9月)、九州大学科学技術イノベーション政策教育研究センター長(2012年度～現在)。</p>
<b>財務戦略</b> <b>(第10回講義)</b>	九州大学ビジネス・スクール 教授 村藤 功 	<p>東大法卒、ロンドン・ビジネス・スクールMBA。ペイン、メロン銀行、CSファースト・ボストン、ベレグリンを経て、アンダーセンのパートナーへ。エンロン問題で、アンダーセンが崩壊してのち、ベリングポイント顧問を経てプライスウォーターハウスクーパーズコンサルタントで2009年末まで顧問。2003年4月から開設された九州大学ビジネス・スクールで企業財務、M&amp;Aとプロジェクト演習。2011～2012年トーマツコンサルティング顧問。2012年度にサバティカルを取得し、韓国のKAIST及び中国遼寧省瀋陽の東北大学ビジネススクールで訪問教授。2017年4月から6年ぶりに2回目の産業マネジメント専攻長。</p> <p>&lt;社会活動&gt;            経済産業省主催の地域金融人材育成システム開発委員会(2003)と財務管理人材育成システム開発委員会(2004)の委員長。2003～2009年まで経済同友会会員。キンザイ・CFO協会：CFOプロフェッショナル検定企画・試験委員、銀行研修社・金融検定協会CFO検定試験委員長。熱海市行財政改革会議委員(2007～2008)。久留米市ガス事業譲渡先選定委員会(2007～2008)・事業仕分委員会委員、委員長(2008、2012)。行政刷新会議第2ワーキンググループ仕分人(2009)。糸島市行革推進委員会委員長・外部評価委員(2013～2017)。筑紫野市総合計画審議委員長、財務アドバイザー(2014～2015)。太宰府市外部評価委員長(2016～2017)。大野城市公共サービス改革委員会委員長(2017～2020)。大前研一氏主催のスカパーのビジネス・ブレイクスルー・チャンネル(ch.757)で数番組放映後、2012年までコンテンツ委員会委員。FM福岡のラジオ番組QT PROモーニングビジネススクールで時事問題・財務担当。連結財務戦略、コーポレートファイナンス、事業ポートフォリオの最適化、ネットの政府など東洋経済新報、中央経済、創成社、同文館などから7冊の本を出版。</p>
<b>フィナンシャルマネジメント</b> <b>(第11回講義)</b>	九州大学ビジネス・スクール 教授 平松 拓 	<p>1980年東京大学経済学部経済学科卒、同年株式会社東京銀行入行。調査部、企画室、Union Bank(在加州)バイス・プレジデント。1997年より(財)国際通貨研究所主任研究員として国際金融、国際通貨問題の調査にあたる。その後、東京三菱銀行経済調査室次長としてマクロ経済調査統括、2004年よりグループ自動車会社経営支援に参画。三菱自動車工業株式会社経営戦略本部戦略管理部長、三菱自動車オーストラリアCFO、2008～09年Apec Business Advisory Council スタッフ等を経て、2009年より九州大学ビジネス・スクールにて「フィナンシャルマネジメント」、「マネジメントコントロール」、九州大学経済学部にて「国際ビジネス」の講義を担当。2013～2014年度九大経済学研究院副院長兼産業マネジメント専攻長。</p> <p>&lt;社会活動&gt;            2001年経済財政諮問会議経済動向・分析チームメンバー、2003～2004年日米経済協議会日本側エコノミスト、2008～2009年APECビジネス諮問委員会日本スタッフ、2009年よりFM福岡のラジオ番組QT PROモーニングビジネススクールのレギュラー・スピーカー、2012年より福岡県中小企業対策審議会委員、2013～2014年外国為替等審議会専門部会委員、2016年より福岡県指定管理者選定委員会委員。</p>

講義テーマ	講師	プロフィール
<b>指導会</b> <b>(個人プロジェクト)</b>	九州大学ビジネス・スクール 客員教授 大津留榮佐久 	<p>1979年米半導体大手Texas Instrument Japan技術マーケティング、システム／カスタムビジネス開発、SCM／ファウンドリー開発等のマネージャー歴任、BPD(Business Plan Development)社内認定講師、2001年ソニーセミコンダクタ九州株式会社実装部門部門長、SIP(System Integration Platform)事業部長、大分テクノロジセンター代表、プロキュアメント(国際資材調達)部門長を歴任。2005年九州大学大学院工学研究院ユーザーサイエンス機構(USI)特任教授、同機構研究企画室長兼プロジェクト部門長／執行部兼名レンジネットワーク部門長、2007年(財)福岡県産業・科学技術振興財団システムLSI推進プロデューサー兼文部科学省地域イノベーションクラスタープログラム福岡先端システムLSI開発クラスター戦略本部事業総括(2012年3月同プログラム完了&lt;S評価&gt;)。2012年福岡次世代社会システム創出推進拠点プロジェクトディレクター、文部科学省科学技術・学術審議会専門委員、産業連携・地域支援部会、文部科学省大学発新産業創出拠点プロジェクトDBJキャピタルユニット事業プロモーター、同年11月研究技術計画学会イノベーションフロンティア研究会主査(地域イノベーションエコシステム)、2014年10月研究イノベーション学会第29回年次学術大会にて学会賞受賞。2015年10月研究イノベーション学会副会長に就任。同年7～9月経済産業省・NEDOオープンイノベーション協議会第1回ワークショップのモデレータ、農林水産省産学連携協議会「知の集積」アドバイザー等、産学官金民連携プログラムの「事業プロデューサー」、大企業幹部研修(&gt;3000人)・中小ベンチャー企業支援・社外取締役・監査役・シニアアドバイザーを務め、2015年末一般社団法人OSTi(DOタンク・戦略コンサルティング・知財開発投資等)を創設、代表理事に就任、2016年11月現在、約30実践プログラム(IoT/AI/Drone/BlockChain等)に関与している。</p>